

東京イノベーションハブ

—中小企業の産学公連携の場—

グローバル化の進展により国内市場の縮小が見られ、あらゆるビジネスチャンスをつかんで販路を切り開く必要性に迫られています。中小企業は交流の場、情報収集の機会が少ないなどの課題があります。

これらの課題を解決する一助として中小企業の交流支援の場となる「東京イノベーションハブ」を設置します。ここでは、例えば大学・学会・研究機関とのマッチングを促進するイベント等を開催し、それらの機関の有するシーズと中小企業の市場ニーズを製品開発につなげる支援を行います。

産学公連携の機会を提供

都産技研が核となって中小企業と大学・学会等の他機関との連携を促進し、オープンイノベーションにより新製品開発、新規事業への進出などを支援します。

中小企業の技術情報を発信するプレゼン企画や全国の大学から毎年シーズとニーズのマッチングイベント参加大学を募り、交流会の開催により都内中小企業の製品開発を促進させる産学公連携の場を提供します。



東京イノベーションハブイメージ

製品開発支援ラボ

—中小企業の新製品開発の場—

新本部ラボ
入居者募集中

都産技研は製品や技術の開発を行う企業、新規創業を目指す企業等を支援し、都内中小企業の活性化に寄与するために、有料の製品開発支援ラボを設置しています。

平成23年度に開設する新本部では、現在西が丘本部で3室を運営している製品開発支援ラボを大幅に拡大し、18室設置します。

施設には、入居企業からの製品開発や知的財産に関する相談を受けるラボマネージャーを置くほか、工作台、小型旋盤など利用できる共用の加工室を設置します。ラボ入居企業には、こうしたサービスのほか都産技研の機器利用サービスや研究員による専門相談を身近で受けなが

ら、高度な製品開発をスピーディに行えるメリットがあります。



製品開発支援ラボイメージ

新本部製品開発支援ラボの特徴

- | | | |
|---------------------------|---------|------------------------|
| 1) 部屋設置数 (全18室) および設備 | 2) 利用時間 | 24時間入退出可能
(カードキー方式) |
| 機械系 5室 (約57㎡～約110㎡) 流し台付き | 3) 天井高さ | 2.5mから |
| 電気系 5室 (約37㎡) | 4) 床荷重 | 500kg/㎡ |
| 情報系 5室 (約31㎡～約35㎡) | 5) 電源 | 単相 100V50Aから |
| 化学系 3室 (約54㎡～約79㎡) | | 3相 200V50Aから |
| 流し台、ドラフトチャンバー付き | | |